J A 訪問 「まちたんけん」で

児童4名がJA本所を訪れ、JA 性を学んでいた。 振興課においてリンゴの熟度調査 で窓口業務を見学したほか、農業 の仕事について理解を深めた。 苦戦しながらも鮮度や食味の重要 も体験した。慣れない調査機器に 児童らは金融・共済課や購買課 10月7日、相馬小学校2年生の

リンゴでも知らなかったことが多 なりました」と感心を深めていた。 くあり、今回の見学で沢山勉強に 体験した石岡希理君は「身近な

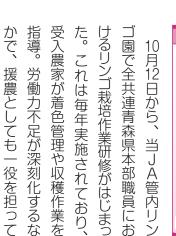
ライスセンター 新設に向けて最終確認

した。 長を筆頭に工事関係者14名が出席 センター新設工事に係る現場説明 会が行われ、大場勉代表理事組合 10月8日、JA本所にてライス

や配置場所などの細かい部分を確 ら説明を受け、小型乾燥機の高さ 全農とうほく設計センター職員か 説明会では、設計図を基にJA

いる。

り、令和4年産米の刈取り時期ま り壊しが行われる予定となってお でに完成を見込む。 ライスセンターは11月下旬に取



りや玉回しの作業をさせてもらい と感想を話してくれた。 てリンゴを食べたいと思います。. これからは、この苦労を噛みしめ とても大変な作業だと感じました。 の工藤雅士さんは、「初めて葉取 今回研修に参加した共済連職員

共済連職員が リンゴ作業を研修

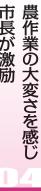


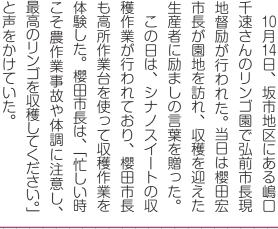






市長が激励







図面などの資料を基に最終確認する関係者





山内斉氏の功績永遠に

どの受章が記されている。 や大日本農会「緑白綬有功章」な 功績を称える顕彰碑が建てられた。 木品評会「農林水産大臣賞」受賞 清和さんの園地前に、 石碑には、これまで受賞した立 10月18日、湯口地区にある山内 山内斉氏の

の先も師匠を称え、初心を忘れな と話していた。 け継いだ意志を継承していく。 いように我々弟子達で師匠から受 た紙漉沢地区の三上博幸さんは「こ この顕彰碑を建てる事を発案し



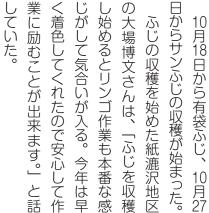
山内斉氏の弟子らが石碑を囲む

岩木山と赤く色付いたリンゴを背景に記

JAL空港地上係員も 活動に参加

昨年からスタートした日本航空パ ご園2カ所で援農活動を行った。 地上係員計6名が当JA管内りん うという想いで実施。 緒に取り組み、活動を盛り上げよ 所の大石寛之署長をはじめとする に奮起し、青森空港所としても一 イロットの有志らによる援農活動 10月18日、日本航空㈱青森空港

こんなに大変なことを実感した。農 家の方々の御苦労のおかげで美味 いになりました。」と話してくれた。 とに改めて感謝の気持ちでいっぱ 「リンゴが消費者の口に届くまで、 しいリンゴが普通に食べられるこ 葉摘み作業を行った大石所長は、



じの収穫もスタートしている。 盛期を迎え、贈答に人気な飛馬ふ 王林やシナノゴールドなども最



世界に誇るふじ

収穫始まる



収穫援農 JALOCAE

ふるさと応援隊青森県担当の4名 千速さんの園地において、JAL ンふじの収穫作業を手伝った。 店長はじめとする関係者4名がサ と、日本航空㈱の安井勝一青森支 11月1日、桐の木沢地区の嶋口

地元愛を語った。 時期に忙しい事が分かっていた為い 好きで参加してくれました。」と 加しました。他のCAも青森が大 少しでも力になりたいと思って参 青森県出身のCA2名は、「この





topics | | 青空りんご教室] 後編 | 相馬小3年

れた。収穫するときに自分で描い ていた。丸いリンゴにシワ無くシー 護者のサポートを受けて上手に貼っ さえて作業していたのが印象的だっ するなど、ポイントをしっかり押 ルを貼ることは難しいものの、自 童が事前に絵描いたものを用いて ながら、児童は慎重に作業をして ル貼りは難しかったけど上手に貼 た。作業を終えた児童は、「シー ところは特にシワが寄らいように 分の描いた絵の中でも強調したい 作業にあたり、女性部や児童の保 いた。シール貼りについては、児 ように注意することを念頭に置き 傷を付けず、尚且つ落下させない 袋剥ぎ作業についてはリンゴに

> を経が綺麗に浮き上がっているか というの質問を沢山挙げていた。 をではか当日は、園主の山内大機、剪定鋏等を実際に見せて紹介機、剪定鋏等を実際に見せて紹介とた。児童は実際に乗用草刈り機というのでいたほか、のでいた。別ででいた。 がスピードスプレーヤや乗用草刈り機 でいた。児童は実際に乗用草刈り機 でいた。児童は実際に乗用草刈り機 でいた。児童は実際に乗用草刈り機 でいた。別主の山内大 があて楽しんでいたほか、 これらの機械に対して使う頻度や にいた。

オリジナルりんごの完成

はじめに、米澤松太農業振興課穫作業を行った。 10月26日、最後の授業である収

主任から収穫の仕方が説明され、



用草刈り機に興味津々な児童

る様子が伺えた。 の様子が伺えた。 の様子が伺えた。

が完成していた。が多く、世界に一つだけのリンゴを並べてみると個性が際立つもの最後に、収獲した絵入りリンゴ

児童らへ伝えた。 大年の「青空りんご教室」の先 は、これからは、これらの気います。これからは、これらの気います。これからは、これらの気います。これからは、これらの気います。これがらながら食べると は、「約1年

て参ります。

「青空りんご教室」と題して課外では、リンゴの栽培方法や各種作及業を行っている。当JAにおい授業を行っている。当JAにおい授業を行っている。当JAにおいった。



絵が写っているかドキドキしながらシールを剥ぐ児調



世界に一つしかない自慢のリンゴを持って記念撮影